

令和5年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名		国際取引法演習Ⅰ・Ⅱ		担当教員		吉田 一康	
	英語授業科目名		International Business Law Seminar I, II		単 位	4	学 期	通年
対象年次	1・2年次		クラス指定	なし	他との関連	国際取引法特論A・Bを受講のこと		
履修条件	法律と英語の基礎的な知識を有し、法律英語に興味があることが望ましい。							
テーマ・副題	法律論文の作成方法を学ぶ							
授業の教育目的・目標	国際取引法等に関係するテーマについての論文作成							
授業の理解度の到達目標	論文テーマを決定し、その関連資料を収集・分析できること。							
授業キーワード	国際取引法、国際商事仲裁法、国際私法、スポーツ移籍規定、スポーツ仲裁、比較法							
授業の内容	国際取引法等に関係するテーマについての論文作成の指導。							
授業の方法	(1) 前半： 学生による情報収集・分析についての説明発表 (2) 後半： 説明発表についての討論・助言など							
授業展開	演習Ⅰ 1～3. 論文の書き方について説明 論文の書き方、日本及び各国の法律論文の引用の仕方、資料の収集方法等について技術的な説明をします。 4～6. 論文テーマの分野決定 以下の3つから、論文テーマの分野・方向性を決定してもらいます。 ① いずれかの国の法律問題の分析 いずれかの国の国際取引法等に関係する問題を選出して分析する。 ② 法律の比較 国際取引法等に関係する問題について、自国の法律と他国の法律（留学生は日本法）の比較を行う。 ③ 国際条約の分析 国際取引法等に関係する条約について分析する。 7～29. 情報収集と読解 論文テーマに関する情報を収集して、分析・発表してもらい、修正していきます。 30. まとめ 総評と休暇中・演習Ⅱの課題を確認。				演習Ⅱ 1～5. 情報収集と読解 論文テーマに関する情報を収集して、分析・発表してもらい、修正していきます。 6～15. プレゼンテーションの準備 PowerPoint 資料を作成して発表してもらいます。 16～30. 論文修正とプレゼンテーション 論文とプレゼンテーションの仕上げを行います。			
成績評価方法	(1) 積極性 40～50% (2) 論文内容 50～60%							
成績評価基準	A 80%以上 B 70～79% C 60～69% D 59%以下（不合格）							
テキスト	各自の論文テーマに応じて決定。							
参考図書	佐野寛『国際取引法』（有斐閣，第4版，2014）2750円							
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	(1) 各講義で課された部分の論文の訂正（1時間程度）。 (2) 各自の論文に関するニュースを、新聞やインターネットなどで見た場合は、読んで概要を説明できるようにすること。							
学生へのメッセージ	元気があれば何でもできる！							
オフィスアワー	毎週、講義日は、高崎キャンパス（担当の講義室、講師控室など）にあります。							
連絡先	電話番号	0270-32-1011（大学事務室）		メールアドレス：	online-yoshidai@sc.jobu.ac.jp			
人数制限	なし							